



56 バッゴ

青森県立種差少年自然の家



○活動の概要○

プラスチックボードの穴をめがけてビーンバッグを投げる的入れゲームです。

1 ねらい

多世代でのコミュニケーションを促進し、親睦を深めさせます。
(小学校 体育 中学校 保健体育)

2 場所・人数・期間・時間

- ① 場所・人数 プレーホール・大ホール・小ホール・玄関ホール 2～8名程度
- ② 期間 通年
- ③ 時間 1時間 (人数により変わります)

3 職員の支援について

- ・物品貸し出し時にルールや安全についての説明を行うことができます。依頼があれば活動支援に入ることができます。

4 準備物

区分	準備物	備考
団体	・特になし	
個人	・運動ができる服装・内ズック	
自然の家	・用具一式 (対面式専用傾斜ボード、ビーンバッグ(赤4、青4) 距離設定用ひも1)	1セット

5 引率者の役割分担

係名	役割
代表責任者	・全体の掌握、指揮、連絡にあたる。
救護係	・緊急時の救護にあたる。

6 活動の流れ

- ① 用具の準備
- ② ルールの説明と諸注意
- ③ 活動
- ④ まとめ・片づけ

7 その他

- ・競技時間の設定はありません。
- ・1チーム2名、2チームで行います。(1チーム4名までなら変更可能。)
- ・ほぼ平坦な所ならどこでもでき、プレイヤーに合わせて距離を設定することができます。
2～4才 2m40cm 5～8才 3m60cm 9～12才 4m50cm
13才以上 5m40cm 正式競技 6m00cm

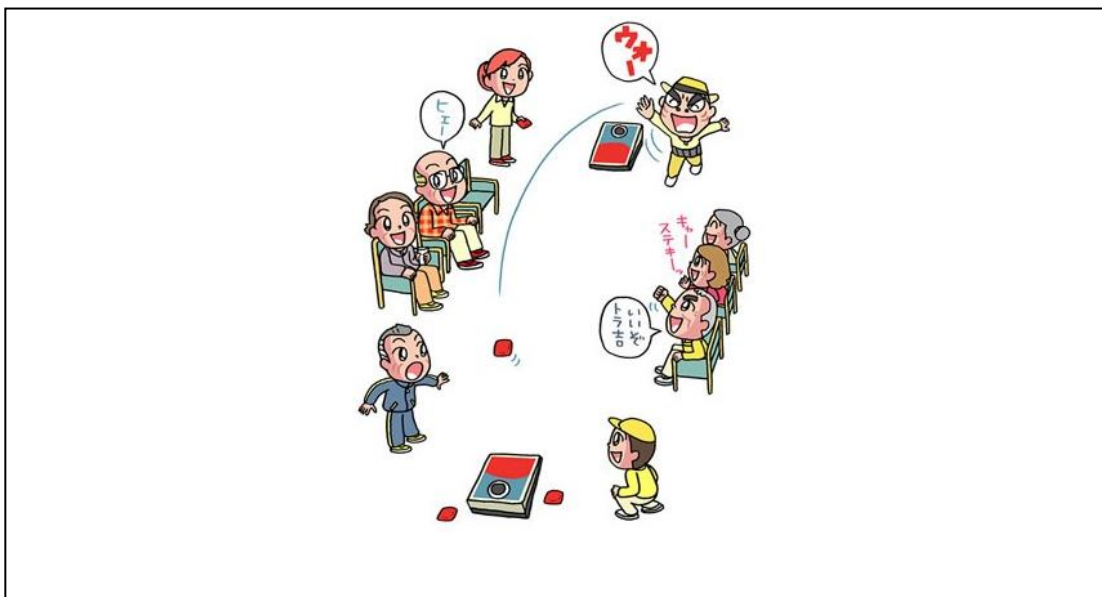
競技方法とルール

(1) ゲームの進め方

- ① 第1ラウンドの開始・・・ジャンケンをして勝ったチームが優先的に「先攻・後攻」または「場所（ボードの右側・左側）」のどちらか1つを決めることができます。
- ② 先攻のプレイヤーがボードを目掛けてバッグを投げることでゲームがスタートします。投げる際にスローイングライン（自分側ボードの前面の延長線上）を踏み越えてはいけません。バッグは各チームが交互に投げます。
- ③ それぞれのチームが4個のバッグを交互に投げ、すべて投げ終わったら1ラウンドを終了し、得点を計算します。
- ④ 次のラウンドは、もう一方のサイドのプレイヤーが同じように交互にバッグを投げます。その際に、前のラウンドで得点を取得したチームが先攻で、投げるポジションは前のラウンドで負けたチームに選択権があります

(2) 得点計算方法

- ① 21点を先取したチームが勝ちとなります。（状況によっては11点先取も可）
- ② ホールに入った場合＝3点　ボードの上に乗った場合＝1点
- ③ 1ラウンド毎の両チームの合計得点の差を、得点の高かったチームが取得します。
- ④ ボードに乗っている相手チームのバッグに当てて穴に入れた場合、自分のチームの得点になります。
- ⑤ 次の場合は得点になりません
バッグを投げるときにスローイングラインを踏み越えた場合
バッグがボードから落ちた場合
バッグが床面に触れている場合
相手チームによってバッグがボードから落とされた場合



日本レクリエーション協会より転載